

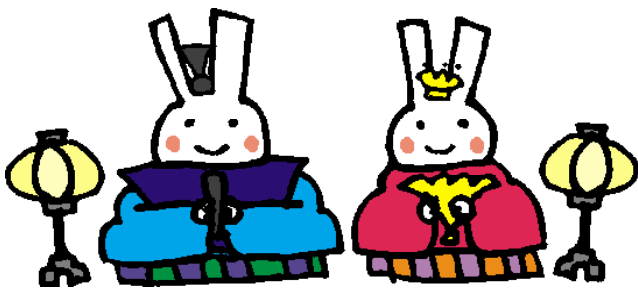
# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



## 目次

- 虫めがね・・・・・・・・・・ 2
- 退職職員あいさつ、  
新キャブ紹介・・・・・・・・ 3
- スケジュール、  
Ryo'sエニグマルーム・・・・ 4
- 工房便り・・・・・・・・・・ 5
- 活動報告、クラブ活動報告・・・・ 6
- 外に出ようのお知らせ・・・・ 7
- 寄付のお礼、田村連載、  
僕の生い立ち（太田連載）・・・・ 8
- Dormitory Life（小野塚連載）・・・・ 9
- バリアフリーよもやま話（岡本連載）  
・・・・・・・・ 10
- 夕会、クイズ解答・・・・・・・・ 11
- 編集後記・・・・・・・・・・ 12



2015年  
3月号



## 巻頭文



寒さが増してきました。皆さん体調管理などは行えていますか？  
わたしは寒いので家に帰ってからいつも紅茶を飲んでます。皆さんも何か帰ってから『これは飲む』という飲み物はありますか？

塚田 愛基

## 虫めがね ～一週間で好きな時間～

私の好きな曜日は、月曜及び金曜日のお昼です、というのは両日ともゆったり時間が流れている感じがするからです。施設の部屋も通所しているメンバーも少ないので広々と使え、脚の悪い私にとってとても歩きやすいし、ゆったりと使えるからでもあります。

三木 直人



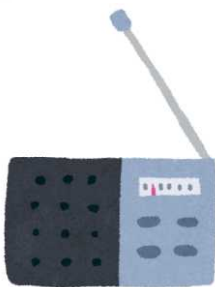
一週間のうちで一番好きな時間と云われても今は困るだけ。前はある程度体の自由がきいたので、やりたい事は出来たから、困ることなど無かったのに。



現在は頭と左手の指先だけは自由がきくので、頭と指先で出来る趣味に没頭しています。だからパソコンの前にいられる時間が一番好きです。

太田 圭子

今から37年前の1980年代、深夜のラジオを聞くのが好きでした。番組名は忘れてしまいましたが、ニッポン放送の番組で、アイドルがよく出演していました。松田聖子が大好きでした。いつもラジオの時間になると胸がドキドキしました。



今は送迎の時にキャブの中で聞くラジオが好きです。

松本恵司

## 退職職員あいさつ

5年間、という長いようで短いような期間ではありましたが、今年の3月を持ちまして、退職することとなりました。

私自身、初めての介護の仕事で不安もたくさんありましたが、風の子持ち前の暖かさや、周りの方々に随分と助けられ、同時にたくさんのことを教えられました。

とある方の「何でもやってあげることが介護じゃないよ？」という一言は、当時何も知らなかった私にとっては目から鱗で、今でも鮮明に覚えています。

風の子での経験を通し、学んだ事、感じたことを次の職場でも生かしたいと思っています。

最後になりましたが、いつも明るい笑顔で迎えてくれたメンバー、色々と教えてくれた職員達、困ったときにいつも手助けしてくれたボランティアの皆さん、本当に感謝しています。ありがとうございました！

丸山 泰慶



## ☆新車購入について☆

この度風の子会では、日本財団様より、新車購入の助成を頂けることになりました。その車は、日産キャラバンです。風の子一同、新車が来ることを楽しみにしています。

メンバーと職員で新キャブの呼び名を決めました。その呼び名は『昂（すばる）キャブ』です。日本財団の皆さまありがとうございました。大事に使わせていただきます。

風の子会一同（田中 聡）



この度風の子会を退職することになりました。短大を出て初めての職場が風の子会でした。最初は、慣れないことばかりで失敗も数知れず、ご迷惑も沢山かけましたね。でも毎日みんなと楽しく過ごすことが出来たかな～と思っています。風の子に関わる全ての方々には、本当に感謝しています。私は、風の子のみんなが大好きです(\*^\_^\*)

辞めたらきっと寂しくなっちゃうな...なので遊びに来ます。笑



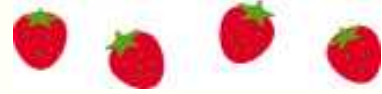
これからも笑顔が絶えない素敵な会でいてください。  
5年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

平沼 実華



# スケジュール

**3月17日火曜日** 新キャブお披露目式  
**3月18日水曜日** いちご狩り  
**3月25日水曜日** 運営委員会



## Ryo's エニグマルーム

+

6	4	7	14	
			11	8
17				13
6		12		
			9	8
11				

タテ・ヨコの列に1～N（Nはタテ・ヨコのマスの数）まで数字を一度ずつ使い、ルールに従い盤面に数字をうめていくパズルです。右上に表示されている計算方法で、各ブロック左上に書かれている数字の解答になるように、ブロック内に数字をうめていきます。

### 検ロジ

## 工房だより

この度、今迄みなさまにお伝えできなかった工房班の様子を「工房だより」としてお伝えすることになりました。  
その記事を掛橋がみなさまにお伝えします。

初回は工房班最年長の松本成子さんにお尋ねします。

松本：風の子36年経つんだっけ。長いようで短い。私は若い人のエネルギーをもらってやってきましたねえ。ばばあも歳をとるわけだ。

掛橋：今まで楽しかったこと、大変だったこと、苦労したことはなんですか？

松本：元気で寿司屋をやっていた時、寿司屋休みで風の子の活動に参加できたことが楽しかったなあ。バーベキューやったり、材料を築地で買ったりね。

風の子も転々と場所を変えてやっと落ち着けて、ありがたいなと思っています。

会員さんも増えてよかったしね。

苦労はね、私個人のは一言や二言で語れないからね。

掛橋：普段の工房での作業をお尋ねします。母ちゃんは色々な作業をされていますが、企業から受注した内職についてどんなことを考えて作業されますか？

松本：内職はお客様ありきだから、きちんとした仕事をして気持ちよく受け取ってもらえれば、次につながると思うんだ。

掛橋：自分がやった仕事で、お客様が気持ちよく商品を使って頂ければうれしいですね。

今日はどうもありがとうございました。

松本：お互い頑張っていきましょう。



# 活動報告

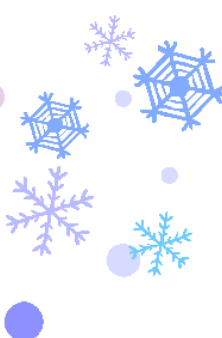
冬休みも明けて、今年の風の子会の活動開始！しかし、昨年の12月で職員の石田美穂さんが退職する予定が代替わりの人が見つからず、1月も勤務している。さらに丸山さんと平沼さんも3月で退職する。当会では職員の募集をしているが、なかなか応募が来ないで困っている。残りのあと3人は募集中！

1月7日（水）今月から月1回、学習会復活！この日の前半は「マナー講座」をボラの波多野栄子さんが講義をし、後半は「親亡き後」というテーマでみんなで語り合った様だ。

1月17日（土）初詣に浅草・柴又にある「帝釈天」へ行って来た様で、「今年1年、無事に過ごす様に」とか、1人1人の想いを込めて様々のお祈りをした様だ。お神籤を引いた人もいたと思う。

1月30日（金）は全国的に雪。東京都心でも朝早くから雪が降っていたので、私は「あまり雪が積もると送迎が出来ず、風の子会の活動が中止になる可能性もある！？」と心配になり朝、電話をかけたらず定通り通常活動を行うと言う事で心がホッとした！昼前から冷たい雨になった。それでも多い所で北区、中野区などで2センチの積雪を記録した様だ！そこで一言、当会に幸（ゆき）入所して雪が降ったのは・・・！？  
まだまだ寒ーい日が続いているのでまた雪の降る日が有ると思う！

幸 高史



一月三十一日にクラブ活動を行いました。

運動部は例の如くプールでしたが、場所は新しく建ったスポーツセンターに試して行きました。

バリアフリーがかなりなっていて、更衣室やシャワー・スロープ付きで車椅子のまま入れるプール等、車椅子の人にはかなり優しい仕様でした。他にはバリアフリーがなってはいないものの、サウナやジャグジーもありました。

他には、読書部が山本周五郎さんの青べか物語を読んでいたり、料理部が恵方巻きを作ったり、声楽部が童謡の『雪』等古い歌を沢山歌ったみたいです。

田村 亮彦



クラブ活動報告



## ☆外に出よう☆

月日が経つのは早いもので、もう今年の『外に出よう』のお知らせの時季がやって参りました。

今年は「東京駅～銀座～日本橋」巡りを実施することになりました。代表者会議で「東京駅が100周年を迎えたこともあり、だったらその界隈を巡ろうではないか」となり決定しました。実施日は5月24日（日）です。下記に当日までの日程を記しておきます。

- 障害者参加者締め切り : 5月2日（土）
- ボランティア締め切り : 5月8日（金）
- リーダー会議 : 5月9日（土）
- 全体集会 : 5月16日（土）
- 開催日 : 5月24日（日）
- 予備日 : 5月31日（日）

以上の日程で動きたいと思います。何かご不明な点がございましたら、外に出よう実行委員風の子内までお問い合わせください。

実行委員長 三木 直人







# 寄付のお礼

寄付を下された方  
真部千代子様、東京赤坂ロータリークラブ様



賛助会にご賛同くださった方  
小西雅子様、神谷之和様、仲宏治様、諏訪敏子様



ご協力ありがとうございました。

※1/1～1/31に  
ご入金くださった方



## 鼻血の際の正しい対処法

『鼻血の際の止血法』ですが、よく『上を向く』や『鼻にティッシュを詰める』と言われていますがこれは間違いです。鼻血の際は、『上を向かず前を向く（鼻孔が下を向いている状態）』『鼻の付け根を軽く圧迫して止血（骨のある硬い部分を圧迫するではなく、小鼻の柔らかい部分を5-10分ほど強く圧迫することで大抵は止まる）』『血が喉に流れてきたら飲まずに吐き出す』『鼻から血を出したい場合は、かむというより軽めの鼻息で押出感じ』『両手が塞がっているなどで鼻を押さえられない場合は、ガーゼ等の柔らかいもので軽く詰める』『鼻の付け根を冷やす』です。



主な理由としましては、『上を向く等をして血が喉に入ると喉や胃で血が固まり、呼吸困難や障害が起きる』『鼻を強くかんだり柔らかい物以外を詰めると、傷をつけてしまい出血しやすくなる』です。他にも、『うなじを叩くと鼻血が止まる』と言われることもありますが、医学的根拠はなく逆に叩いた衝撃で出血が酷くなることもあるので行ってはいけません』

鼻血は数分程処置をしていれば治りますが、30分以上止まらない時や鼻血を何度も繰り返す際は受診しましょう。

田村 亮彦



話は突然変わりますが、圭子と私が結婚してから十年が経ち、いろいろなことがありましたが、それを徐々になが、それがいろいろに書いていきたく思います。

太田 稔



## わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

### 第70話 大雪の日

冬が来た。寒い冬だ。僕は寒さに特に弱い。暑い日はただ汗をかいてうだっていればいいけれど、寒さというのは暖房なり防寒なりといった対応をとらなければならない。そういう面倒をしてもなお寒さがこたえる日もある。そういう寒さに辟易とするし、だから僕は冬が嫌いなのだ。

その日は午前中の講義をサボって午後のゼミだけ行くことにした。昼前に大学に行き、学食で昼を食べ、校内を軽く歩き回ってから、4限目のゼミの教室へと向かった。その日は朝から痛みを感じるような寒さで、白と灰色が等分に混ざり合った鉛のように重たい雲が空を完全に覆っていた。予報では雪とあったが、そんなに大事にはならないだろうと軽く見ていた。昼まではまるで何の気配もなかったので、昼食後には予報のことなんてすっかり忘れていた。

そのゼミに入ってから4年目になるので、教授もゼミ生もほとんどが馴染みだった。そのゼミは授業の終了時間などおかまいなしに、議論が出尽くすまで終わらないのがいつもの流れだった。ゼミが始まって少し経った頃にふと窓に目を向けると、空に雪が舞っている。「雪だ！」誰とはなしにでた言葉に瞬間、みんな一斉に雪景色に目を奪われた。この時点ではまだ誰も、大雪になるだろうなんて思いもしなかった。

その後もいつも通りゼミは続き、終了を知らせるチャイムが鳴ったので、とりあえず教室を空けて教授の部屋へ場所を移すことになった。学部棟から教授棟へ移る渡り廊下を歩いているとき、雪が地表を1、2センチ程度埋めていたのが目に入ったが、そのときはゼミの議論のことで頭がいっぱいで、そんなことは気にならなかった。教授棟に移ってからは当然のように酒が入る。簡単な鍋を作ってそれを肴にしなが、ビールや焼酎を片手に更に議論は続いた。その日はいつもより長く続き、議論（あるいは飲み会）がお開きになった時には外はすっかり暗くなっていた。時計に目をやると8時を過ぎていた。教授棟から出て帰途に着こうとして外に出た瞬間、立ち止まってしまった。道という道すべてが雪で埋まっていたのだ。それもうっすらではない。5、6センチは積もっているのだ。これでは電動カートでアパートに帰るところの話ではない。「これじゃ帰れねえな」「どうすんだよ？」「どうするっつってもなあ・・・」カートの前でしばらく立ちつくしていると、アリヨシというゼミ仲間がこう言った「俺らで寮までおぶってやるよ」。

彼は僕を新宿まで遊びに連れて行ってくれたゼミ仲間だ。たまに飲んだり麻雀をしたりというくらいの付き合いだ。寮の後輩のキクチやサイタと親しく、彼らを通して接するようになった。元ボクサーだという話を聞いたこともあったが定かではない。卒業後、彼らとの関係は途絶えてしまったからだ。けれどもこの大雪の日のことや新宿で飲んだことは、今でも忘れられない記憶になっている。

「カートを動かすのは無理だから、とりあえず放置して、ヅカシだけならおぶって帰れるぜ」「そうするしかないか・・・頼む」教授棟から寮へは歩いて10分弱の距離だ。けれどもその距離ですらたいへんなほどの積雪だ。おまけに途中には30段ほどの急な階段もある。所々に雪があり、滑りやすくもなっている階段をおぶられながら降りるといのは少なからず恐怖感にとられる「こけないでくれよ」「そんなときは、そんなときだ」「おいおい・・・」そんなやりとりをしながらもアリヨシは慎重に階段を降りる。

なんとか無事に寮に着き、アリヨシに札を言う「部屋で一服でもしてかないか？」「それもいいけど、どうせなら麻雀しないか？」「・・・ああ！」そうして部屋に行き、キクチとキイチを呼び寄せて卓を囲む。しんしんと降りしきる雪を窓越しに眺めながら牌をカチカチ積み上げる。卒業が間近に見えてきた中、こんな風に遊べるのもあとわずかもかもしれないと思いつつ煙草の煙をくゆらせる。

～ 第71話へつづく ～

## 風の子便り連載

岡本 明

### バリアフリーよもやま話

### 第37回 「難しい介護用語」

「Aさんは臥床しているが入眠せず、左側臥位にて目を開けている状態である。若干の傾眠が認められる。まだ更衣もしていなかったため、端座位にてパジャマに着替えさせた。その際、臀部に落屑、左右足趾に発赤を認めたため清拭を行ない、常用の軟膏を塗布した。褥瘡は完治している。」

難しい文でしょう。分かりますか。実はこれは私が創作した、ある訪問ヘルパーさんの訪問記録です。私が社会福祉士試験の勉強をしているときに読んだ模擬試験問題にあったものをヒントに、ちょっと大げさに作ってみました（実際にはこんなややこしいものは少ないかと思いますが）。



これを簡単にいうと、「Aさんはベッドに寝ているが眠っておらず、左を下にして横になって目を開けている状態である。若干意識がボーっとしている。まだ着替えもしていなかったため、ベッドに腰掛けてパジャマに着替えさせた。その際、お尻の皮膚がカサブタのように剥がれていて、また左右の足の指に赤いポツポツがあったため、きれいに拭いていつもの薬を塗った。床ずれは完全に治っている。」ということです。

どの分野でも専門用語というのは他の分野の人にはさっぱり分からないことが多いのですが、とくに介護や医学の専門用語は難しいですね。

日本は現在、アジア諸国との経済連携協定（EPA）という条約の締結を進めていて、その中の一つとして、介護の現場での外国人労働者受け入れが進められています。たとえば介護福祉士は、6ヶ月間の日本語などの研修を受けたあと現場で経験を積み、介護福祉士国家試験を受験するようになっていきます（4年以内に介護福祉士の国家資格を取得できなければ帰国しなければなりません）。

この協定に基づいて来日された方にとって大きな問題が日本語です。日常会話はほぼ問題なくできるようになり、介護技術も充分もっておられる方も、試験に出る漢字や専門用語のむずかしさは大変です。厚生労働省でもこの点を改善するために、数年前から「介護福祉士国家試験での難しい用語について表現の見直し」を行なっています。

たとえば、難しい漢字にはフリガナを振る、やさしい表現にする（「光源を設ける」→「照明を設ける」、「加齢変化」→「加齢による変化」）など127ヶ所について工夫がされています。この効果もあってか、外国の方の合格率はこのところ上がってきているそうです（それでも日本人の合格率の半分くらいなのですが）。

いずれにしても、難しい言葉を使うのは自分の権威を高めたいためだけ、とも言われるように、決して良いことではないですね。

# 夕会便り

1月の夕会は2回開かれた。1回目は外に出ようについて。目的地をどこにするか、風の子案をまとめた。港区の寺めぐり、都バスの旅、ディズニーランド、東京駅等が挙がった。これらの案は風の子案として、代表者会議に挙げられる。論点が途中からずれ、外に出ようの活動意義についての議論となった。職員にとって現状はオーバーワークではないか、他団体共催が形骸化していないか、では今後どうしていけばいいのか等の議論が展開された（但しこれは代表者会議で議論される問題であり、夕会マターではないように思われる）。

2回目は2月に搬入される新しいキャブのネーミングについて話し合った。



ミカ、みのる、スバル、ちよちゃん等が挙がり、結果スバルキャブに決定した。ニッサンの車にスバルとは、風の子のネーミングセンスもなかなかシュールだなと個人的に思った。

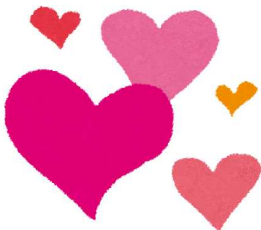
小野塚 航

+

2	4	1	5	3	6
3	1	4	6	2	5
6	5	2	3	4	1
1	6	3	4	5	2
5	3	6	2	1	4
4	2	5	1	6	3

クイズの答え

# 編集後記



田村 亮彦

記念日は（マイナーなものを含めると）ほぼ毎日のように存在します。其の中でも三月十日は数学・数関係が好きなのには興味がある日です。

一般的に有名なのはホワイトデーですが、円周率の日でもありません（日本では数学の日でもある）。由来は其の儘で上三桁からで、一時五九分か一五時九分に祝います（続きの三桁）。

また願掛けとして、この日に結ばれたカップルは永遠に続くと言われています。其れは、円周率には終わりが無い・無限に続くと言うところから来ていて、此処から派生してバレンタインデーに告白し両思いになっても（ホワイトデーにお返し・返事が貰える）永遠に続くと言われています。

近いうちに告白しようとして担ぐ人も良いかもしれないね。



僕は最近口腔センターに歯の治療に行ってきました。治療にあたった先生に僕は「先生面倒だから歯を抜いちゃってください」と言いました。すると先生は笑いながら「患者さんの方からそんなこと言われたことないわ。初めての事よ」と言いました。そして結局僕の歯は抜かれましたが、抜き終わった後帰り際に「歯をもって帰られますか」と言われ、驚いた顔をしていると、「患者さんで歯を持ってお帰りになる人がいるので」僕はそう言われて「風の子会」の職員に聞いたところ、昔歯



が欠けたり抜けたりした場合、天井とか屋根裏に投げる風習があったそうです。

太田稔

私は水曜学習会で戦国時代について2月25日に講義を担当します。

幸運な事に僕の好きな声優さんが戦国時代の「真田信之」という武将を演じています。ちょうど年代的にも関ヶ原のところですし話しやすいと思います。真田信之は真田幸村の兄にあたる立場です。このアニメはゲームからアニメ化した作品です。ですからもっと私は戦国時代に興味が出ました。

塚田 愛基



真田信之

## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

企画メンバー  
石田神一  
太田野塚圭  
佐久間彦  
松田村亮  
右田本  
幸田  
和栗頭太郎

太田野塚圭  
小中塚  
塚田  
三木  
柳川  
吉田  
久敬  
代事人

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砧6-26-21

